

## 『Pokémon LEGENDS Z-A』が発売されました

## Hot Topics

2025年10月16日、『ポケットモンスター』シリーズの新たな挑戦作であるNintendo Switch/Nintendo Switch 2ソフト『Pokémon LEGENDS Z-A（ゼットエー）』・『Pokémon LEGENDS Z-A Nintendo Switch 2 Edition』を発売しました。

本作は、シリーズ初の、ポケモンとトレーナーがリアルタイムで行動する戦闘が特徴で、これまでにないポケモン勝負をお楽しみいただけます。発売初週には全世界で580万本の販売本数を記録し、また、そのおよそ半数がNintendo Switch 2にて遊ばれています。

発売を記念して、各地でイベントが行われました。東京・渋谷では、ゲームの世界観を堪能できるスペースがオープン。「昼と夜で街の様子が異なる」という作品の特徴を表現した、時間帯に合わせて変化する展示が登場しました。1日に最大約50万人が通行するとされている渋谷スクランブル交差点で展開することで、国内外問わず多くの方々に、ゲームの魅力をお届けできました。

また、台湾・台北では、現地の夜市文化を取り入れたイベント「『Pokémon LEGENDS Z-A』夜市祭」を開催。4日間で3万5000人もの方が訪れ、ゲームの試遊や夜市ならではのミニゲーム、ゲームの主人公とおそろいの衣装を着用したピカチュウとのグリーティングなどを体験。夜市文化をきっかけに、ポケモンゲームの魅力を知っていただきました。



## 「トヨタミライドン」「ホンダコライドン」合同展示

2025年10月30日から開催された、一般社団法人日本自動車工業会主催の

「Japan Mobility Show 2025（ジャパンモビリティショー2025）」にて、2024年に発表されたトヨタミライドン、2025年に発表されたホンダコライドンが、初めて2体そろって展示されました。

トヨタミライドンとホンダコライドンは、トヨタ技術会およびHondaのそれぞれの経験と技術、ポケモンの協力によって作り上げられた、ビデオゲーム『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』で出会うことができる伝説のポケモン「ミライドン」「コライドン」の形をした、ミライモビリティです。

トヨタミライドンプロジェクトは、1人の小学生のアイデアによって始まりました。そして、その取り組みに感化され、ホンダコライドンプロジェクトが立ち上がり、さらに、今回の合同展示が実現しました。子どもたちの夢をかなえるべく、大人の本気によって実現したトヨタミライドン・ホンダコライドンが、会場を訪れた多くの人々に笑顔をもたらしました。



## 『ポケモン天文台』が開催中です

2025年11月1日から2026年1月12日まで、相模原市立博物館にて『ポケモン天文台』が開催されています。

本企画展では、ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するポケモンたちの生態と照らし合わせながら、宇宙のさまざまな不思議を楽しく学ぶことができます。宇宙と関連があるポケモンについてのパネルや体験展示のほか、これまでの天文学・宇宙科学の歴史の中で明らかにされてきた、宇宙の姿に関する画像・模型や資料が展示されています。

例えば、せいうんポケモンのコスモッグは、周りのチリを集めながら成長し、げんしせいポケモンのコスモウムを経て、さらなる進化を遂げていきます。このコスモッグの進化の過程は「小さなガス状の星雲から誕生し、大きく成長していく」星の一生と似ている、といったように、子どもたちにも分かりやすく解説されています。

本展は今後は福島県・宮城県・愛知県・長崎県で開催され、その後も全国を巡回予定です。



主催：自然科学研究機構 国立天文台、巡回会場となる博物館など、NHKプロモーション  
企画協力/ポケモン展示制作：株式会社ポケモン  
総合監修：自然科学研究機構 国立天文台  
協力：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

## ポケモンセンターカガワがオープンしました

2025年10月24日、香川県高松市丸亀町グリーン1Fに、ポケモンセンターカガワがオープンしました。ポケモンのオフィシャルショップであるポケモンセンターとして、初の四国地方への出店となる新店舗では、香川ならではのグッズを展開しています。香川県の名物であるうどんに関連し、うどんの食文化をイメージしたうどん桶、醤油差しなどの食器類や、香川県の伝統文化「讃岐提灯」や「丸亀 竹うちわ」にまつわる商品も登場しました。

香川県では、「うどん」と音の響きが似ていることから、まめけポケモンのヤドンが「うどん県PR団」に任命されています。ポケモンセンターカガワの店内外では、ヤドンがお客様を出迎えるほか、四国地方初となるポケモンカードステーションも併設され、同店ならではの特別な体験をお楽しみいただけます。





## ビデオゲーム

### ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『Pokémon LEGENDS Z-A』では、シリーズ初のポケモンとトレーナーがリアルタイムで行動する戦闘が特徴で、これまでにないポケモン勝負をお楽しみいただけます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8900万本以上(2025年3月時点)  
／対応言語数 (『ポケットモンスター』シリーズ) 10言語 (同年11月末時点)

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベストセールス賞」「優秀賞」受賞 (2023年9月)



## カードゲーム

### ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。

「ポケモンカードゲーム MEGA」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。

魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

累計製造枚数 750億枚以上／販売言語数 (実績) 16言語／販売地域数 (実績) 90以上の国と地域 (2025年3月末時点)



## 映像

### テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つパルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

### 「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他

Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」 〈制作：ドワーフスタジオ (株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND) 配信先：Netflix〉

「ポケモンたちとの甘い冬」など 〈制作：日食記 (中国の映像クリエイターチーム) 配信先：YouTube〉

「ただいま (良辰有夢)」 〈制作：寒木春華 (中国のアニメスタジオ) 配信先：bilibili・YouTube〉

テレビアニメ放送地域数 (実績) 190以上の国と地域 (2025年3月末時点)

「Pokémon Kids TV」 YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンドクリエイターアワード」受賞 (2023年10月)



## アプリゲーム など

### 『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。

開発・提供：Niantic, Inc. ポケモン

### 『ポケモンマスターズ EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。

開発・提供：ディー・エヌ・エー ポケモン

### 『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。

開発・販売：ポケモン

### 『ようこそ! ポケモンカフェ～まぜまぜパズル～』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。

開発：ジニアス・ソノリティ 発売・販売：ポケモン

『Pokémon Sleep』  
「Google Play ベスト オブ 2024」 マルチデバイス部門 ゲームカテゴリ (日本) 大賞受賞 (2024年11月)

『Pokémon Trading Card Game Pocket』  
日本ゲーム大賞 ムーブメント賞 (2025年9月) ・ Google Play ベスト オブ 2025 「ベストゲーム 2025」 (同年11月) 受賞

### 『ポケモンユナイト』

5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています。

開発：Tencent 発売・販売：ポケモン

### 『Pokémon Sleep』

スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。

開発：SELECT BUTTON 販売：ポケモン

### 『Pokémon Trading Card Game Pocket』

ポケモンカードを「集める」ことをメインテーマにしたアプリ。毎日、無料でカードパックを開封できます。デジタルならではのカードの表現や演出も取り入れられており、スキマ時間に、誰でも気軽に楽しむことができます。

開発：クリーチャーズ ディー・エヌ・エー 販売：ポケモン

### 『ポケモンフレンズ』

頭をほぐす「ひらめき」問題をポケモンの世界観で楽しめる、Nintendo Switchとスマートフォン向けのゲーム。知育アプリ「シンクシンク」を基にした問題を含め、さまざまな難易度の1200問以上が収録されており、子どもから大人まで「考えること」を楽しみながら遊ぶことができます。スマートフォン版/開発・販売：ポケモン Nintendo Switch版/販売：任天堂 発売：ポケモン

### 『ポケモンフренда』

ポケモンのこども向けアーケードゲーム。ビデオゲームよりもシンプルなルール設定や、ボタンを叩くなどのわかりやすい操作性、ポケモンが描かれた配出物が手に入るなど、未就学児でも、ポケモンの世界観を楽しむことができます。2007年にスタートし、第5弾となる今作からは新たにタッチパネルを導入。2024年7月より、ポケモンセンターや商業施設などで稼働開始

プレイ料金：100円+フрендаピック払い出し1枚100円/最大1プレイ600円(すべて税込) 開発：マーベラス 運営：タカラトミーアーツ



## オフィシャルショップ

出店状況：日本国内 23店舗/日本国外 2店舗（台湾・シンガポール）（2025年11月時点）  
商品種数：約2700種類（「ポケモンセンター」）（同年3月末時点）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンスター」を展開中。ポケモンの世界観の中でお買い物を楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。



## ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

### 主なお取引先

赤城乳業、イオンモール、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、ダスキン（ミスタードーナツ）、日本生命、日本マクドナルド、バンダイナムコホールディングス、P&G、ファーストリテイリング、ファミリーマート、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

### 直近の注目事例：「HUMAN MADE x Pokémon」

ライフスタイルブランドのHUMAN MADEとポケモンのコラボレーションが実現し、「Pokémon Made」が発売されました。HUMAN MADEを象徴するカモのモチーフにちなみ、かるがもポケモンの「カモネギ」をフィーチャーしたカバーオールジャケットやフーディーが登場。中でもジャケットは、フロントにネギを差し込めるという、遊び心溢れるデザインが特徴です。このほかにも、HUMAN MADEのハートロゴとモンスターボールを組み合わせたデザインのTシャツや、ピカチュウのクッションなど、コラボレーションならではの全9型のアイテムがラインアップされました。



## その他の取り組み

ピカチュージェット運行中の航空会社  
ANA / ガルーダインドネシア / スカイマーク / スカウト / チャイナエアライン /  
ティーウェイ（五十音順）

「ポケモンローカルActs」連携協定締結先の道県  
北海道 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 福井県 / 三重県 / 鳥取県 / 香川県 / 高知県 /  
長崎県 / 宮崎県 / 沖縄県

### そらとぶピカチュウプロジェクト

「そらとぶピカチュウプロジェクト」は、人と人、人と地域をつなぐことで、旅の楽しみをお届けします。その象徴として、「ピカチュージェット」が就航、2025年11月末現在は6つの航空会社で9機が運航しています。

### ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（2025年11月末現在12道県と協定を締結）

### 一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地のこどもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユー財団を設立しました。活動領域も広がり、こどもの災害対策支援・こども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

### ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『ポケモンユナイト』・『Pokémon GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが会場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、長らく欧米で開催されてきましたが、18回目となる2023年に初めて日本で開催されました。2025年にはアナハイムで開催され、50近くの国と地域からプレイヤーが会場。会場には、選手と観客合わせて2万5000人以上が来場しました。

2025年にアナハイムで開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子



POKÉMON



ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター 赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続きました。

捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。